

山寺ふるさと便り

=第4号=

宝珠のしずく

題字 後藤 仁 田
(性相院)

発行所 山寺公民館

〒999-3301 山形市山寺517-1
TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会
編集 宝珠のしずく編集委員会



慈覚大師(円仁)



狩の場面

全校児童劇 山寺物語



石切踊り



猪踊り

山寺小学校

げき「山寺物語」

昭和四十二年、山寺小学校全員による野外劇「山寺物語」が発足した。以来三十余年、絶えることなく、しかも年々改善されながら発表されている。

○狩人のいない動物達の踊りの場面
○磐司を頭とする狩の場面
○慈覚大師来村、狩猟をやめさせ、農業を教える場面
○動物たちの喜び、猪踊りの場面
○石切踊りの場面
と五つの場面構成で、山寺の歴史のあらすじを表現している。

子どもたちの声

○おもしろい、楽しい
○山寺の歴史の勉強になる
○お父さん、お母さんも小学校の時にやったんだって聞いた
○お面作りとか踊りとか苦労したけど、そのかいがあった

観客の声

○孫たちの一生懸命な姿に感激した
○全員の劇ですばらしい
○子どもの笑顔がたのしい
○いつまでも続けてほしい
○芭蕉さんも出てほしい
等々、喜びや賞賛の声が圧倒的であった。



中地藏遺跡の発掘調査は、広域営農団地農道整備事業に伴い実施されました。調査は、事業実施区域にかかる約六〇〇mについて・財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を行いました。

中地藏という地名は、かつては山寺村松原となっていました。昭和二十二年頃に「中地藏」と命名されたといわれています。標高は一九〇〜一九三mを測り地形は北東から南西に向けて傾斜しています。当地の立地条件は古代の人々にとって、豊かな自然の恵みをもたらしていたと考えられます。今回の調査は、山寺付近に於ける奈良、平安時代の集落の様相を探る上での先駆的なものになると思われます。

発掘調査 ▶



遺跡調査

山形県教育庁文化財課

▶ 住居跡



今回の調査では、平安時代の堅穴住居跡、土杭、溝跡、近世の掘立柱建物跡、畑跡などが検出されました。平安時代の堅穴住居跡は三棟で、建物には皆同じ方角にそろえてあります。炊事を行うカマドが備えられ、煮炊きに用いた土師器の甕が遺されたものもありました。また、鉄製品も出土しています。

このたび出土した遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、石器、石製品、

▶ カマド跡

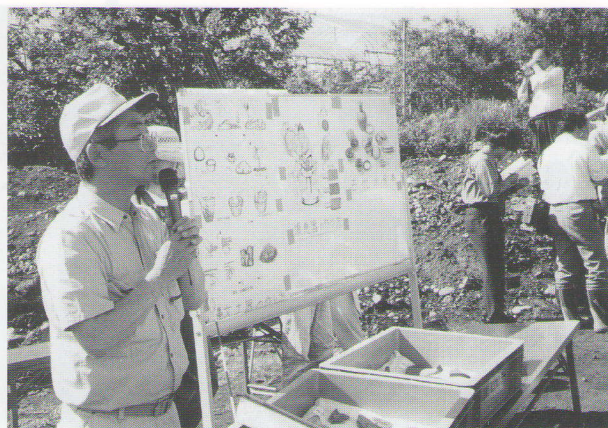


金属製品、古銭などで、縄文土器は約四五〇〇年前頃の縄文時代中期のもので、ほとんどが深鉢です。石器は石篋、削器、石匙、剥片が出土しましたが、これらの石器の原材料となる頁岩は当地には見受けられず、他地域との交易等によって持ち込まれたと考えられ、土師器、赤焼土器、須恵器は約一二〇〇〜一一〇〇年前の平安時代に作られた物でした。

古銭は、掘立柱建物跡の柱穴から出土し、「文久永寶」と刻まれており、江戸時代末の銭貨でした。



▲ 遺跡のようす



▲ 出土品の説明



▲ 調査説明会

山形新聞社提供

この様に
て出土した遺
構、遺物は六
月八日に地区
民を始め、荒
谷地区の方々
山寺小学校の
六年生、考古
学者等、多数
の方々の参加
を得て調査担
当者より詳細
な説明が行わ
れ、遠き縄文
時代に思いを
馳せました。

蔵地中 発掘



▲ 山寺小
6年生見学

絆
こたま

宝珠のしずくに寄せて

しずく第三号なつかしく読ませ
ていただきました。

山寺の祭を見て、小学校で創作
した「山寺ものがたり」を思い出
しました。今考えてみると、学校
と地域の一体化を図った実践だっ
たのです。これこそ現在求められ
ているものです。

遠足のことも忘れません。自然
の豊かな山寺は、自然と共生する
中から「生きる力」が育つよう学
校も地域も考えていくことが大切
なのではないでしょうか。

私は、今でも面白山、紅葉川溪
谷や遊仙峽へ年に何回か行ってい
ます。私の心を引きつけてはなさ
ないのです。(要約)

山形市 大山 明夫氏

宝珠のしずく第三号ありがとう
ございます。スポ少のいきいきし
た表情、老人施設、地区ニユース
等、たいへん楽しくまた、羨まし
く読ませて頂きました。もう四十
一年もの昔のことなのになつかし
く、桜の山寺、紅葉の山々、カジ
力をつかまえた川原、元氣一杯の
子等がよみがえります。山寺での
三年間は私の心の宝物です。

山形市 渋谷 明子氏

平成11年
(1999年)

地区ニュース

〈山寺中文化祭「温故知新」〉

観光案内ボランティア

山寺中学校の文化祭に今年度初めて、観光案内ボランティアが加えられ、昨年の十月三十日に実行された。「生徒一人ひとりが地域を見つめ直し、観光客の人にも山寺を深く理解してもらおう」というねらいのもと、七月から準備を開始した。

当日、山寺駅前にプラカードを持ち、腕章を付け、電車から降りて来る観光客を迎える。最初、緊張と不

安があったものの、班ごとに次々と相手が決まり、大成功に終わった。後日、学校の方へ御礼状と写真が多く寄せられ、皆さんに大変喜んでいただいたとの事。その御礼状の中から一部を紹介する。

○真紅に染まった立石寺は皆様のガイドでお互いの心の交流が出来、終始和やかな内に頂上に登ることができました。
(群馬県太田市)

○私共家族も良い思い出になり、写真を見ては、あなたがたの素朴な人柄が思い出されます。

(埼玉県大宮市)

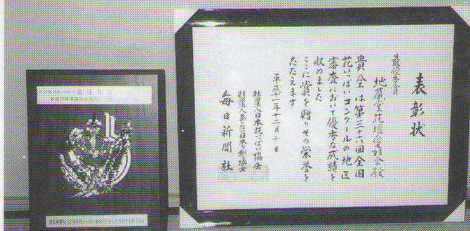
○私達の案内をして下さった三人の生徒さんは皆素晴らしい、優しく丁寧に説明をして頂いたおかげで本物の歴史に触れる事ができ、一時間程の急な山道も疲れをも忘れる程、楽しく観光できました。(中略)この様な行事を計画された校長先生をはじめ、諸先生方に心より敬意と感謝申し上げます。
(群馬県太田市)

○友人に話したら「私も案内してほしい」という人ばかりです。来年も企画してもらえたらと願っています。
(宮城県仙台市)



お山案内します
山寺中生徒会

全国花いっぱいコンクール



最優秀賞受賞

地蔵堂花壇愛好会

白花の「さるすべり」



山寺公民館前(宮崎)の県道に沿って植えてあるさるすべりの花が咲くようになった。これは山形市美化推進事業の一環として、三年間に渉る振興会役員の奉仕の結晶。

宝珠山ライトアップ

十月五日から十七日間、宝珠山がライトアップされ、更に幽玄の趣で来客を魅了した。

山形市で全国規模のイベントが集中したためである。地域づくり先進会議・青年会議所全国大会・スポレク・映画祭等で山寺をPRした。



山形新聞提供



岩が大きく見える(立木伐採)



夜行念仏復興

講中会員の減少により存続が危うくなっていたが、地区内有志者の働きかけによって会員二十二名により復興継承された。

講中には女性や地区外の方々も加わり、文化庁からは無形文化財として調査、記録作成の要ありと職員の派遣があった。

対面石前に「花ひらく」



対面石の北側、県道沿いに「念ずれば花ひらく」の石碑が建立された。七月二十四日立石寺貫主清原浄田大僧正により入魂式があった。佛教詩人の坂村真民さん(90歳)は、佛教精神を基として自己啓発・社会奉仕を実践しておられる。

疑えば 花ひらかず
信心清浄なれば
花ひらいて
佛を見たてまつる

なお、対面石の東、立谷川を見下せる小さな簡易休憩所が作られた。その名も「ポケットパーク」

千手院道路改良工事



道路改良完成 11年3月

道幅が狭く車のすれ違いも出来ずしかも一方は壁、もう一方は崖という危険な道路であったが、写真の様な立派な道路として誕生した。千手院地区には踏切とか拡幅を要するところが残っていて、早急な補修が待たれる。

大雨洪水

八月十三日から翌十四日にかけての大雨は近年にないすさまじいものであった。

所部では床上床下浸水5棟、坂の上からの崖崩れ、道路欠損等、馬形では川筋の杉林流出、田畑の流出(写真土嚢の手前)。水は馬形地区中心部の民家を襲わんばかりであった。

仙山線は全面ストップしたほか、紅葉川溪谷・遊仙峡・二口街道沿い等壊滅的で、いまだに復旧のめどさえついていない。

幸い、河川の護岸工事完了の所はさしたる事もなく胸をなで下ろしている。



流失したほうれん草畑



緑と清水を縫って

いざゆかん (山寺駅前)



ボランティア団体「山愛会」と公民館主催による遊仙峡めぐりには、毎年100名程の参加があり、新緑の中、植生の勉強、笛汁に舌鼓を打ち、体も心もリフレッシュ、山寺名物行事。

山形市民ハイキング

ボランティア団体「山愛会」と公民館主催による遊仙峡めぐりには、毎年100名程の参加があり、新緑の中、植生の勉強、笛汁に舌鼓を打ち、体も心もリフレッシュ、山寺名物行事。



山形市報で紹介されたヒヤリ地図

交通安全山寺支部長小野さんの呼びかけで、小中学生から見た交通危険地図を作成、地域ぐるみで交通事故ゼロを目ざし注意を喚起した。

ヒヤリ地図作戦

鹿島 武臣・松倉とし子
(ボニージャックス) (ソプラノ歌手)



サニーヒル山寺夏祭り

デュエット・ミニコンサート

7月31日

サル・クマ出没しきり

サル、年々猿のいたずら被害がひどくなって来た。今では中地蔵地区を除き全地区が活動範囲で、手当たり次第何でもの感がある。大集団になると30から40頭がボスの合図で一斉に現れる。

平成10年調べによると、被害面積約17ヘクタール、被害量約142トン、金額にして実に2千7百万円にのぼる。(JA山形調べ)



アララ、柿の木に猿が

クマ、各地区の山際に出没、中にはサニーヒルの近くまで出てクマ注意報が発令された。また所部南院道にクマ現れると新聞でも報道される程。山寺地区で捕獲したクマは4頭。(平成11年)のこりは冬眠中である。

表彰・受賞

- 市政記念式典善行者表彰
遠藤 正治
- 市老人福祉大会表彰
布施さくの 後藤うめ子
- 市社会福祉大会表彰
武田久之進
- 自治活動感謝状
矢萩 菊雄 武田格之祐
奥山藤美次 遠藤弥右衛門
武田 和夫 遠藤 貞雄
武田久之進 増子孝太郎
後藤 孝一
- 市衛生組合連合会表彰
高見 昭男
- 国民年金推進協議会感謝状
後藤 理吉
- 県交通安全協会表彰
小野 匡義
- 全国農業会議所会長表彰
後藤 哲夫
- 市社会福祉協議会感謝状
矢萩 菊雄
- 山形市花壇コンクール 最優秀賞
全国花いっぱいコンクール
山形県最優秀賞
地蔵堂花壇愛好会
- 地区振興会感謝状
宮崎謡曲愛好会
松瀬 久正

る。立石寺の門前町でもある。
『南院』と呼ばれる由縁は、慈覚大師が山寺を開山し、立石寺の末寺として置いた七院の一つ『南院』が



駅前からお山を望む

区は山寺の玄関口『山寺駅』を中心に東西に走る街道に沿った四十二戸からなる街並である。

おらが地区 南院

地区名となっている。残念ではあるが、この由緒ある末寺『南院』がどこにあったのか断定する資料は存在しない。しかし、現在の山寺駅構内東南近辺にあったのではないかと推測されている。
山寺駅前から宝珠山の眺望は観光客の羨望の的である。観光シーズンともなると、地区の中心街である駅前から宝珠橋にかけての商店に立ち寄り観光客で賑わう。
現在、南院地区が抱えている大きな課題は道路『中嶋線』の改修等である。今、地権者の方々を中心に南院の将来に相応しい道路を求めて精力的に話し合っている最中である。

山寺の文化財④

山形市指定有形民俗文化財

地蔵堂猪供養碑

この碑には次の文字が刻まれています。



猪畜追薦 施主 山寺惣中
南無天月地蔵大菩薩
如是畜生發菩提心 宝暦五年二月一日
宝暦四年は東北地方一帯が大飢饉にみまわれた年です。人も獣も飢えに苦しみ、野獣が田畑を荒らし農作物に大きな被害を与えました。当地は「殺生禁断の地」とされていましたが、立石寺の許可を得て猪狩を行い、その後猪の追善供養を行いました。その時に建てられたのが、この「猪の供養碑」で非常に珍しく、当時の人々の心情を今に伝える貴重な民俗文化財です。（地蔵堂境内）

おめでとう

小笠原さんご夫妻

（地蔵堂）

金婚さん



小笠原 健一さん
すみ子さん ご夫妻

私達が結婚した時はまだ食糧難の時代でした。あの頃は米を作ったり山に薪を取りにと大変な時代でした。あれから早いもので五十年が過ぎて、テレビの普及や水道が通り道路の拡幅など、目覚ましい程の発展をしました。私達夫婦もすっかり老人になっています。今は、次男夫婦と孫二人と毎日が楽しくにぎやかに暮らして居ります。この度は宝珠のしずくにのせて頂き光栄です。

今後共健康に留意され、健やかに楽しい人生を過ごされますよう祈念しています。（ほかに十組いらつしやいます）

新婚さん

増子さんご夫妻

（所部）



増子 英樹さん
千晶さん ご夫妻

二人の出会いには高校時代山形駅です。千晶さんは、とてもやさしくてよく気がきくステキな女性です。山寺は幼い時に何度か来たのでなつかしかったです。住んでいる人達の人情の温かさに感動。雪が多く、野生の動物にびっくりしました。（英樹）
英樹さんはとてもやさしく誠実な人です。二人で、ほのぼのとのんびり、笑いの絶えない家庭にしたいと思っています。（千晶）

「チーちゃん」「ヒデちゃん」と呼び合っている美男美女のカップルです。どうぞお幸せに!!
（ほかに七組いらつしやいます）

話題の人

佐々木太四郎^{さん}

（千手院）

明治四十四年十月八日生 八十八歳

嬰鑠^{かくしやく}として



佐々木さんは足が不自由でも、今も運転免許を持ってかけずり廻る。千手院部落会長（九年間）として、多目的集会所、林道の整備には特に力を入れてきた。小中学校改築については、改築期成同盟会長として推進役となる。山形市に於いても林業振興協議会委員、その他の委員も兼務、山形市の振興に大きく寄与した。生産面では花卉に力を入れ、昭和三十八年、山形園芸組合連合会を設立し、会長となる。華道は草月流師範であり、短歌もたしなむ。館報「やまでら」に平成四年から小論を載せ、正に郷土史そのもの。現在でも毎号掲載されている。

平成十一年中の物故者
謹んでお悔み申し上げます

千手院	武田 幹雄殿	武田 長司殿
後藤	弘康殿	
所部	増子 忠次殿	増子 しげえ殿
増子	鍾水 しげ殿	武田 健殿
鍾水	武八殿	増子 あき殿
馬形	小笠原かつよ殿	小笠原キノ殿
川原町	細谷 清殿	遠藤 くん殿
南院	堀川 廣志殿	遠藤 スミ殿
遠藤	善一殿	
芦沢	後藤 哲殿	滝口 富男殿
柏倉	久雄殿	伊沢勝兵衛殿
山田	廣殿	
地藏堂	後藤 登殿	布施 栄殿
成山	よしみ殿	矢萩 忠殿
中地藏	繁雄殿	増子 たけよ殿
布施		

誕生おめでとうございます

川原町	笹原克幸氏次男	圭太さん
〃	今井孝二氏長女	知里さん
〃	岩崎秀幸氏長女	朱莉さん
中地藏	後藤勝美氏長男	利樹さん

地区振興会役員

山寺地区各種役員

（敬称略）

山寺地区振興会長	（山寺地区広報委員長）	武田 俊昭
町内会長	（社会福祉協議会長）	増子 敬一郎
（衛生組合連合会長）	富樫 一則	
（防犯協会山寺支部長）	布施 佐利	
町内会長	（まちづくり推進委員長）	原田 忠
（教育後援会長）	田中 泰晴	
広報委員	（体育振興会長）	新関 孝夫
吉田喜代太・伊澤 浩		
佐藤 英一・後藤安之助		
観光協会長	民生児童委員総務	武田 久之進
福祉協力員代表世話人	布施 栄義	
関係機関	山寺小中学校長	伊藤 正明
山寺郵便局長	武田 三千男	
山寺駐在所	石黒 忠克	
山形JA山寺支店長	丹野 寿一	
山寺駅長	清水 清	
山寺芭蕉記念館事務局長	佐藤 真弓	
サニーヒル山寺施設長	江口 敬志	
サニーヒル山寺事務局長	黒沼 吉男	
山寺公民館長	伊澤 貞一	
山寺公民館事務長	武田 憲一	

山寺地区振興会 主な活動

役員改選による新役員での出発。地区民の要望33項目を行政側に陳情、特に中地藏地区に住宅団地の誘致促進、中嶋市道建設促進。行政と地区の意志疎通を図るべく風雅の国の「憩の丘」で、山寺のせみを聞きながら、懇談会を開催。八月の大雨災害時には行政と協力し合い復旧に奔走する。追分花壇は二年連続の山形市最優秀賞に輝き、重ねて全国コンクール山形県最優秀賞受賞。少子化・高齢化社会へ向け福祉活動に力を注いでいる。

編集後記

西暦二〇〇〇年がいよいよ到来しました。もう間もなく二十一世紀が始まります。皆様如何お過ごしでしょうか。

「宝珠のしずく」第四号ができましたのでお届け致します。創意工夫で内容を紙面の許す限り充実していきたいと思っております。取材に協力して下さいました方々に厚く御礼申し上げます。御気付きの点等ありましたら公民館までどうぞお寄せ下さい。

編集委員

後藤哲夫 伊澤貞一 武田俊昭
武田 誠 遠藤まき子